

一般社団法人シェア・ザ・プラネット

第十期年次（2023年10月～2024年9月）活動報告

はじめに

今年に入り井戸水灌漑に頼らない間断かんがい（AWD）稲作が、農水省で温暖化ガス排出取引を想定してその手法が確立し、フィリピンと2国間取り決めがなされた。また、AWDの普及について国際機関などもの動きも活発化し、先行で実施し成功している当会の活動が注目されるようになってきた。

トヨタ財団で行われているインド西ベンガル州との交流では、現地稲作研究所もAWD事業を協働で進められないかと協議を始めた。北東部ハオールでの活動は、JICAが実施するハオール事業との親和性が高いということで、今後の借款事業にわれわれの活動のコンポーネントを入れたいとの打診がきている。このように活動が確実に広がっていること、またカウンターパートとなっているBRRIとの協働事業の認知も進み、今後の普及に際して強力にサポートを約束してもらえるなど、より大きな社会インパクトを発現するための動きが現実化している。

しばらく途絶えていたJICAのNGO等提案型プログラムにも、これまで共同実施してきた株式会社ジャングル・コアと提案に向け協議している。

バングラデシュで7、8月に起きた政変により、今後の活動にどのように影響するか引き続き注視しなければならない。

活動報告

I. 国際協力活動を実践する個人・団体・企業への助言・支援・人材派遣を含む人材育成・組織強化

（企業）

- ▶ フィリピンで実施しているAWDで温暖化ガス取引を始めている企業（㈱クレアトラ）からバングラデシュでの協働の協議を始めた。
- ▶ 同様にインドの企業（Renew社（三井物産子会社））からも同様のオファーが来ており、三井物産本社の担当者との面会を実施した。

（NGO）

- ▶ バングラデシュのパートナーNGO（4団体）、IRRI, BRRIを含めたCCAAN（気候変動適応化農業ネットワーク）では、インドへの訪問、インドからの受入れ、協働フォーラムを実施した。またこうした活動のホームページを日本側に移管し、シェア・ザ・プラネットで更新データのアップデートを行った。

（ドナー関連）

- ▶ 地球環境基金のエージェント（代理人）として、SBF（1年次）また、シェア・ザ・プラネットとして（パートナー：BARCIK（3年次））を実施した。新規申請としてPSUSとASED Habigonj申請は不採択となった。7月地球環境基金職員2名のフィールド見学が実施されたが、政変のため途中で急遽帰国することとなった。

- 「気候変動適応化農業ネットワーク (CCAAN)」が中心となり、インド西ベンガル州での取り組みとを学びあうための交流（トヨタ財団助成）は最終セミナーを両国で実施し、最終報告書とブロッシャーづくりを進めている。
- TOTO 水環境基金への事業申請を行った（PSUS）。

II. 国際相互理解の促進及び社会貢献活動における実践と調査研究及び経験交流

- 特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワークに団体会員として参画し、副代表理事として参加した。
- 代表理事は一般社団法人アジア自立支援機構の理事を派遣していたが、任期満了に伴い終了した。
- 上述のとおり、トヨタ財団事業としてバングラデシュとインドの気候変動に対する対策の学びあい事業を実施。
- 代表理事は任意団体「文化・芸術のちからで社会貢献する実行委員会」理事に就任した。
[文化・芸術のちからで社会貢献する実行委員会 \(casocial.jp\)](http://casocial.jp)

III. 地球市民社会の実現に向けた教育・学習及び啓発

- かわごえ国際フェスタに出展（2023年11月）、2024年度は出展（2024年11月10日）とあわせ実行委員としても参加する。
- 埼玉国際フェア（2023年10月）に出展、また2024年度も出展（10月27日）が決まった。

IV. 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

- NGOJICA 協議会のコーディネーターを3月一杯で終了した（2022年4月から2年）。
- 公益財団法人 日本非営利組織評価センターから中間モニタリングが実施された。

財務報告

- I. 経常収益 3,342 万円、経常費用 3,303 万円、差し引き 39 万円の黒字となった。

以上

2023年度 活動計算書(報告書)

2023年10月01日～2024年09月30日(配賦)

一般社団法人シェア・ザ・プラネット 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
受取会費	27,000		
受取会費計		27,000	
受取寄付金			
受取寄付金	550		
受取寄付金計		550	
受取助成金等			
受取助成金			
- 環境再生保全機構 地球環境基金	13,482,672		
- 彩の国さいたま国際協力基金	310,761		
- トヨタ財団	3,104,143		
受取助成金等計		16,897,576	
事業収益			
受託料収益			
- JICA海外事業	16,335,000		
コンサル料収益	94,700		
講師料収益	17,380		
フェアトレード商品販売収益	4,300		
事業収益計		16,451,380	
その他収益			
受取利息	676		
為替差益	45,838		
その他収益計		46,514	
経常収益合計			33,423,020
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	1,800,000		
法定福利費	321,344		
福利厚生費	151,520		
通勤交通費	92,400		
【人件費計】		2,365,264	
【その他費用】			
商品仕入れ	16,860		
諸謝金	40,000		
旅費交通費	672,682		
海外出張旅費(非課税)	1,975,841		
会議費	33,543		
交際費	110,527		
交際費(非課税)	23,344		
通信費	265,634		
荷造運送費	10,576		
広告宣伝費	623,677		
消耗品費	327,670		
新聞図書費	15,026		
研修費	13,500		
海外プロジェクト費(非課税)	23,013,389		
賃借料	500		
保険料	255,439		
水道光熱費	69,650		
支払地代家賃	640,000		
委託費	2,265,000		
諸会費	135,225		
支払手数料	50,875		
租税公課	30,600		
雑費	7,000		
【その他費用計】		30,596,558	
事業費計		32,961,822	
経常費用合計			32,961,822
当期経常増減額			461,198
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
税引前当期正味財産増減額			461,198
法人税、住民税及び事業税	70,000		
当期正味財産増減額			391,198
前期繰越正味財産額			1,589,436
次期繰越正味財産額			1,980,634

2023年度 特定非営利活動に係る事業の会計
貸借対照表

2024年9月30日現在
一般社団法人シェア・ザ・プラネット

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
普通預金	8,557,364	前受金	6,410,453
前渡金	138,258	預り金	29,430
流動資産合計	8,695,622	短期借入金	275,105
固定資産		流動負債合計	
固定資産合計	0	固定負債	
		固定負債合計	0
		負債合計	6,714,988
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	1,589,436
		当期正味財産増減額	391,198
		正味財産合計	1,980,634
資産合計	8,695,622	負債及び正味財産合計	8,695,622

2023年度 特定非営利活動に係る事業の会計
財産目録

2024年9月30日現在
一般社団法人シェア・ザ・プラネット

(円)

科 目	金 額	
資産の部		
流動資産		
普通預金	8,557,364	
--ゆうちょ銀行166	358,684	
--三菱東京UFJ銀行	678,262	
--ゆうちょ銀行563	1,490,000	
--三井住友銀行	6,030,414	
--楽天銀行	4	
前渡金	138,258	
流動資産合計	8,695,622	
固定資産		
固定資産合計	0	
資産合計		8,695,622
負債の部		
流動負債		
前受金	6,410,453	
預り金	29,430	
--源泉所得税(給与)	29,430	
短期借入金	275,105	
流動負債合計	6,714,988	
固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		6,714,988
正味財産合計		1,980,634

法人名：一般社団法人シェア・ザ・プラネット

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準）によつてい
ます。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	助成金事業	収益事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費	0	0	0	27,000	27,000
2. 受取寄付金	0	0	0	550	550
3. 受取助成金	0	0	0	0	0
- 環境再生保全機構 地球環境基金	13,482,672	0	13,482,672		13,482,672
- 彩の国さいたま国際協力基金	310,761	0	310,761		310,761
- トヨタ財団	3,104,143	0	3,104,143		3,104,143
4. 事業収益	0	0	0	0	0
- JICA海外事業	0	16,335,000	16,335,000		16,335,000
- コンサル料収益	0	94,700	94,700		94,700
- 講師料収益	0	17,380	17,380		17,380
5. フェアトレード商品販売収益	0	4,300	4,300		4,300
6. その他の収益					
- 受取利息	0	0	0	676	676
- 為替差益				45,838	45,838
- 雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	16,897,576	16,451,380	33,348,956	74,064	33,423,020
II 経常費用					
1. 人件費					
- 役員報酬	594,000	1,206,000	1,800,000	0	1,800,000
- 給料手当	0	0	0	0	0
- 法定福利費	106,043	215,301	321,344	0	321,344
- 福利厚生費	50,002	101,518	151,520	0	151,520
- 福利厚生費（非課税）	0	0	0	0	0
- 通勤交通費	30,492	61,908	92,400	0	92,400
人件費計	780,537	1,584,727	2,365,264	0	2,365,264
2. その他費用					
- 商品仕入れ	0	16,860	16,860	0	16,860
- 諸謝金	40,000	0	40,000	0	40,000
- 旅費交通費	510,401	162,281	672,682	0	672,682
- 海外出張旅費（非課税）	862,343	1,113,498	1,975,841	0	1,975,841
- 会議費	13,416	20,127	33,543	0	33,543
- 交際費	25,522	85,005	110,527	0	110,527
- 交際費（非課税）	0	23,344	23,344	0	23,344
- 通信費	265,634	0	265,634	0	265,634
- 荷造運送費	10,576	0	10,576	0	10,576
- 広告宣伝費	623,677	0	623,677	0	623,677
- 消耗品費	223,390	104,280	327,670	0	327,670
- 新聞図書費	6,403	8,623	15,026	0	15,026
- 研修費	4,455	9,045	13,500	0	13,500
- 海外プロジェクト費（非課税）	12,799,301	10,214,088	23,013,389	0	23,013,389
- 賃借料	165	335	500	0	500
- 保険料	18,230	237,209	255,439	0	255,439
- 水道光熱費	22,985	46,665	69,650	0	69,650
- 支払地代家賃	211,200	428,800	640,000	0	640,000
- 研修委託費	0	0	0	0	0
- 委託費	0	2,265,000	2,265,000	0	2,265,000
- 諸会費	44,624	90,601	135,225	0	135,225
- 支払手数料	30,059	20,816	50,875	0	50,875
- 租税公課	10,098	20,502	30,600	0	30,600
- 雑費	0	7,000	7,000	0	7,000
その他費用計	15,722,479	14,874,079	30,589,558	0	30,596,558
経常費用合計	16,503,016	16,458,806	32,954,822	0	32,961,822
当期経常増減額	394,560	▲ 7,426	394,134	74,064	461,198
【経常外費用】					
730 法人税、住民税及び事業税				70,000	70,000
【当期正味財産増減額】					
			394,134	4,064	391,198

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は1,589,436円ですが、
そのうち使途の制約されている正味財産はございません。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成金	0	13,482,672	13,482,672	0	海外事業実施のための助成金
トヨタ財団	0	3,104,143	3,104,143	0	同 上
彩の国さいたま国際協力基金	0	310,761	310,761	0	同 上
合 計	0	16,897,576	16,897,576	0	

一般社団法人シェア・ザ・プラネット

第十一期年次（2024年10月～2025年9月）活動計画

活動計画

V. 国際協力活動を実践する個人・団体・企業への助言・支援・人材派遣を含む人材育成・組織強化 (企業)

- ▶ 温暖化ガスに国間取引に関して企業との協働の可能性を探る
- ▶ コンサルタント企業との協業の可能性を探り、新規案件形成を模索する

(NGO)

- ▶ 埼玉 NGO ネットワークやその傘下の団体、かわごえ国際ボランティアの会などの組織運営にアドバイスする。

(ドナー申請事業)

- ▶ 地球環境基金のエージェント（代理人）とし新規案件 2～3 案件事業を提案申請する。
- ▶ 彩の国さいたま国際協力基金事業の成果をモニタリングする。
- ▶ JICA・NGO 等提案型事業を株式会社ジャングル・コアと共同で申請する。

(その他)

- ▶ JIRCAS、IFAD からの委託事業に関する協議を行う。

VI. 国際相互理解の促進及び社会貢献活動における実践と調査研究及び経験交流

- ▶ 特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワークに団体会員として参加し、副代表理事として参画する。
- ▶ トヨタ財団の活動を終え、事業の成果報告書を作成する。

VII. 地球市民社会の実現に向けた教育・学習及び啓発

- ▶ ホームページやフェイスブック等で現場での様子など情報の発信に努める。
- ▶ 国内で活動の成果や異文化理解促進のためのイベントの開催を行う（10/27 国際フェア、11/10 かわごえ国際交流フェスタ）。
- ▶ ホームページを大幅リニューアルし、活動の成果などをわかりやすく配信できるようにする。

VIII. 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

- ▶ NGO・JICA 協議会のコーディネーターとして事前打ち合わせと協議会の運営にかかわる。

財務計画

II. 財務状況の健全化に向け、外部ドナーへの申請などを積極的に行う。

以上